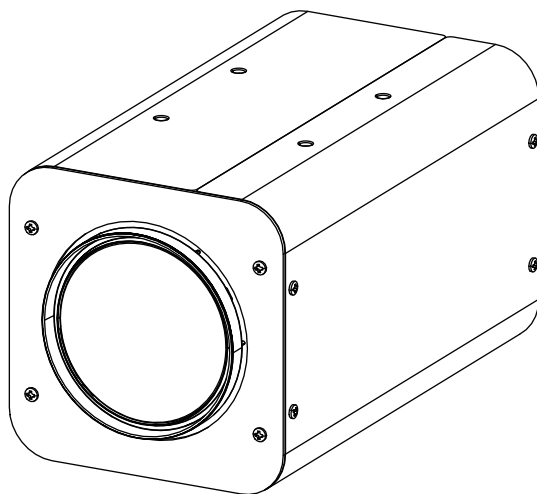




SSZ-9700

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みいただき、正しくご使用ください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にご使用ください。





お読みになった後も大切に保管し、必要な場合にお読みください。

目次




安全上のご注意	3
正しくお使いいただくために	4
保管及び設置場所	4
移動について	5
お手入れについて	5
CMOS 特有の現象について	5
レンズ特有の現象について	5
その他	5
免責について	6
記載内容について	6
概要	7
特徴	7
各部の名称と機能	8
操作	9
ユーザーセットアップ	9
セットアップボタンの名称と機能	9
セットアップモードの構成	9
メインメニューの内容	9
メインメニュー	9
ALC メニュー	10
Picture メニュー	12
Color メニュー	14
Lens メニュー	15
Video Output メニュー	16
Device Setting(1/2)メニュー	17
Device Setting(2/2)メニュー	19
Information:Version	20
メニュー設定の制限	21
メニュー構成	22
仕様	24
外観寸法図	26
修理・廃棄処分に関する内容について	27
保証規定	31

安全上のご注意

警告

	十分な強度を持った安定した場所に設置する
	ネジや固定機構はしっかりと締め付ける 締め付けがゆるむと、落下などで怪我の原因になります。高所使用時の落下は重大な事故につながるおそれがあります。
	正しい電源、電圧で使用する 本機の電源定格は DC12V です。定格を越えた電源を供給すると故障や最悪の場合発煙、発火の恐れがあります。カメラの定格電圧と一致する電圧を入力してください。
	本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルに誘雷対策をしてください。

注意

	金属のエッジで手をこすらない 強くこすると、けがの原因になります。
	発煙・異常音・異物混入などの異常のときは、カメラに供給している電源を切ってから取り外し、速やかに購入販売店へご連絡ください。
	分解・改造を行わないでください。製品の機能を損ねたり、感電したりするおそれがあります。

正しくお使いいただくために

保管及び設置場所

- 本機は屋内用機器です。屋外での使用はできません。
- 非常に明るい被写体(照明や太陽など)を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所に置かないようにしてください。誤動作や故障の原因となります。
 - 許容動作温度(-10℃～50℃)範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度(35%RH～90%RH)範囲外の湿気の多いところ(結露なきこと)
 - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く
 - 蛍光灯や窓の反射の影響を受ける場所
 - 不安定な照明が使われている場所(フリッカーが発生する)
 - レーザー光が映りこむ場所
 - 高圧線や線路の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 車両や船舶などの振動するところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 可燃性雰囲気などの特殊環境
 - 放射線やX線、及び塩害や腐食性ガスの発生するところ
 - プールや温泉など、薬剤を使用するところ
- 本機及び本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例:ラジオ、テレビ、変圧器、線路、モニターなどの近く)で使用された場合、映像にノイズやビートが入ったり、色彩が変わったりすることがあります。
- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。本機は本体表面から放熱を行っています。壁の近くなど、熱がこもる場所に設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たる所に設置しないでください。
- 次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策への配慮をいただくとともに、当社にご連絡くださるようお願いいたします。
 - 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外での使用。
 - 人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用。
- 本機は、使用される条件が多様なため、その装置・機器への適合性の決定は装置・機器の設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。この装置・機器の性能及び安全性は、装置・機器への適合性を決定されたお客様において保証してください。
- 本機は、人の生命に直接関わる装置(※1)や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置(※2)などの制御に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの用途に使用しないでください。
 - ※1 人の生命に直接関わる装置とは、次のものをさします。
 - 生命維持装置や手術室用機器などの医療機器
 - 有毒ガスなどの排ガス、排煙装置
 - 消防法、建築基準法などの各種法令により設置が義務づけられている装置
 - 上記に準ずる装置
 - ※2 人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置とは、次のものをさします。
 - 航空、鉄道、道路、海運などの交通管制装置
 - 原子力発電所などの装置
 - 上記に準ずる装置

移動について

- 移動するときは、システムの電源を切ってください。
- 本機に震動や衝撃を与えないようお願いいたします。

お手入れについて

- レンズ部にゴミや埃が付着した場合は、市販のプロアーで除去してください。スプレー式のプロアーは、水滴がカメラ内部に飛び散ることがあるので使用しないでください。レンズ部の清掃は細心のご注意を払って行ってください。

CMOS 特有の現象について

- 撮影画面に現れる下記のような現象は、本機が採用している CMOS 撮像素子特有の現象であり、故障ではありません。
 - 白点
CMOS 撮像素子は、宇宙線などの影響により、希に画面上に小さな白点が発生することがあります。これは CMOS の原理によるもので、本機の故障ではありません。また、下記のような条件下では白点が見えやすくなります。
高温の場所での使用
シャッタースピードを遅くした時
ゲインを上げた時
 - 折り返し歪み
細かい模様、線などを撮影すると、本来のものとは異なる模様や色が見えることがあります。

レンズ特有の現象について

- 撮影画面に現れる下記のような現象は、レンズ特有の現象であり、故障ではありません。
 - ゴースト
太陽など強い光がレンズ入射角の近くにあった場合、レンズ内側での乱反射から映像に高輝度の影が見えることがあります。

その他

- 長時間使用しないときは、安全及び節電のため、システムの電源を切ってください。
- 精密機械ですので、決して強い衝撃を与えないでください。
- カメラを長期間使用しないときは、レンズにレンズキャップを取り付けてください。
- 屋内で使用する設計となっているため、屋外で使用する場合は、必ず、保護カバー等を取り付けるなどレンズの保護対策を施してください。
- DC 電源端子、及び RS-485 ポートに接続するケーブルについて、長さが 3m 以下を推奨しています。

免責について

- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- VTR、またはハードディスクレコーダーなどを使用中、万一カメラの不都合により録画されなかった場合、録画内容の補償や機会の損失についてはご容赦ください。
- 大切な撮影の場合は必ず、事前に動作確認をしてください。
- 地震、火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器(画像処理ボード、レンズ含む)、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが万一発生した場合、侵害や障害に対する責任は一切負いません。
- **AF Mode** を **Auto** にした状態で長期間にわたって撮影されたことにより生じた障害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が提供するソフトウェアやお客様自作のアプリケーションソフトウェアによって生じた、お客様のハードウェア及びソフトウェアの損害等について、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 仕様書や取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 仕様書や取扱説明書に記載されている以外の操作方法によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者(指定外のサービス店等)が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に関し、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

記載内容について

- 予告なく仕様または外装の一部を変更することがあります。
- 「カリーナシステム」は、カリーナシステム株式会社の登録商標です。
- その他の商品名は各社の商標または登録商標です。

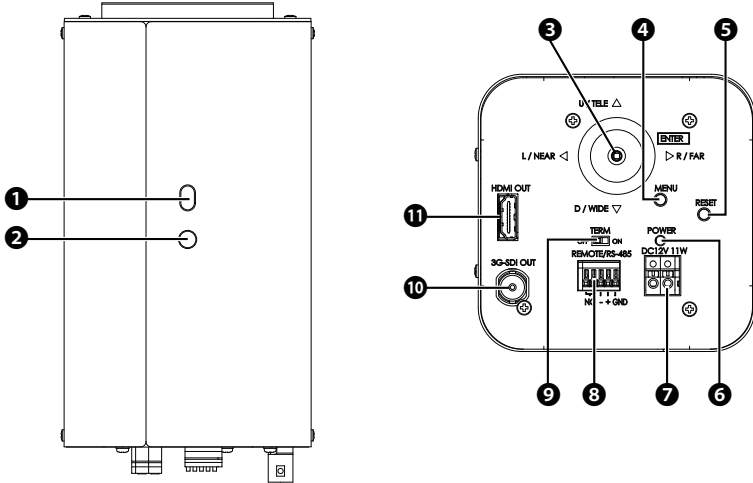
概要

本機は、広角 6.5mm から望遠 230mm までの焦点距離をカバーした光学 35 倍ズームレンズを搭載し、212 万画素の 1/1.8 型 CMOS センサーを使用した超高感度の単板カラーカメラです。国境、港湾、その他特殊用途での夜間低照度地域での監視/治安対策、環境調査に最適です。

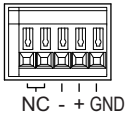
特徴

- 0.004lx での低照度環境下に於いても高感度なカラー撮影が可能
- オリジナル 2D/3D ノイズリダクションにより、ハイゲイン時でも良好な SN 比を実現
- 35 倍光学ズームレンズと 10 倍デジタルズームとの組合せで最大 350 倍 (35mm 換算で $f=10500\text{mm}$) のズーム比を実現 (デジタルズーム使用時は解像度が低下します)
- 赤外光透過フィルターによる光学 Defog 機能により、煙霧下でも鮮明な画像を撮影可能
- HDR 機能搭載により明暗の差が大きい場合でも撮影が可能
- RS-485 通信機能により、高度な監視システムの構築が可能

各部の名称と機能



- ① 固定穴
回転を防止する時に利用できます。
- ② 三脚ネジ
三脚等に固定するネジです。1/4"-20UNC 長さ 5.5mm 以下のネジを使用して下さい。
- ③ 十字キーボタン
メニュー操作の項目を参照して下さい。(→ P9)
- ④ MENU ボタン
メニュー操作の項目を参照して下さい。(→ P9)
- ⑤ RESET ボタン
押す事により、カメラが再起動します。
- ⑥ パワーインジケータ
カメラに電源が入力されているとき、グリーンの LED が点灯します。
- ⑦ DC12V 接続端子台
DC12V を入力して下さい。(極性はありません)
- ⑧ RS-485
RS-485 でリモート制御する場合に使用します。



- ⑨ RS-485 用終端スイッチ
RS-485 通信時、1 対 1 で制御する場合は ON 側に、デイジーチェーン接続する場合は OFF 側にしてください。(最終接続機は ON)
- ⑩ 3G-SDI 出力端子
3G-SDI の映像出力端子です。
- ⑪ HDMI 出力端子
HDMI の映像出力端子です。

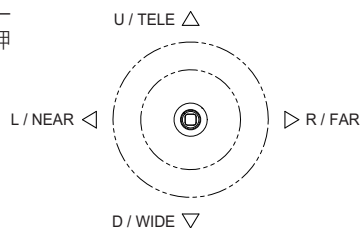
操作

ユーザーセットアップ

セットアップメニューは、OSD 表示にてセットアップ可能です。

セットアップボタンの名称と機能

カメラ背面にある十字キースイッチ(右図)で操作します。十字キーの上下左右移動により、選択したい項目に移動して、十字キーを押すこと(決定ボタン)により確定します。



セットアップモードの構成

セットアップのメニューは7項目のセットアップメニューによって構成されています。

メインメニューの内容

MENU ボタンを押すと、メニュー初期画面が表示されます。カメラ動作の各種設定が可能です。再び MENU ボタンを押すか EXIT を選択すると、メニュー画面を終了します。

メインメニュー

Main Menu			
ALC	Setup		↵
Picture	Setup		↵
Color	Setup		↵
Lens	Setup		↵
Video Output	Setup		↵
Dev. Setting	Setup		↵
Information	Disp		↵
EXIT			

ALCメニュー

ALC	
ALC Mode	Full Auto
ALC Level 100
Limits	Setup ↵
Shutter	1/60
Gain	0.0dB
Iris	F**
BLC Mode	Off
Detailed	Settings ↵
RETURN	EXIT

ALC Mode

明るさの制御方法を選択します。

Full Auto

ゲイン、シャッタースピード、アイリスを自動で調整します。

Shut.Prio.

ゲインとアイリスは自動、シャッタースピードは任意の設定で調整します。

Gain Prio.

シャッタースピードとアイリスは自動、ゲインは任意の設定で調整します。

Iris Prio

ゲインとシャッタースピードは自動、アイリスは任意の設定で調整します。

Manual

ゲイン、シャッタースピード、アイリスを任意の設定で調整します。

ALC Level

十字キーボタンで自動露光の収束値を調整します。レバーを右へ動かすと明るくなります。実際の映像を見ながら適切な位置に調整します。

Limits

自動調整時におけるシャッタースピード、ゲイン、アイリスの最大値と最小値を任意の設定で調整します。

Shutter

ALC Mode= Shut.Prio. と Manual の時、十字キーボタンにてシャッタースピードを任意の設定で調整します。

- 1/1、1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000[59.94Hz 系]
- 1/1、1/2、1/3、1/6、1/12、1/25、1/50、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000[50Hz 系]

※シャッタースピードは表示値と実際の制御では誤差があります。

Gain

ALC Mode= Gain Prio. と Manual の時、十字キーボタンにてゲインを任意の設定で調整します。

- 0~78dB(0.3dB ステップ)

Iris

ALC Mode= Iris Prio. と Manual の時、十字キーボタンにてアイリスを任意の設定が可能です。

- F1.5、F2、F2.8、F4、F5.6、F8、F11、F16、F22

BLC Mode

十字キーボタンで逆光補正の設定が可能です。

Off

画面全体が最良の明るさになるように調整します。

On

画面全体で極端に明るいエリアを避けて測光して、明るさを自動補正します。

Spot

画面上の枠で囲まれた任意のエリアを選択し、その部分以外が最良の状態になるよう明るさを自動補正します。

SPOT SET に入ると画面上に 9x5 のマス目が表示されます。

十字キーボタンでカーソルを移動し、十字キーボタンを押すとマス目が塗りつぶされます。塗りつぶしたエリアは測光から除外されます。

Detailed Settings

Flickerless

フリッカー改善機能の On/Off が設定可能です。

- 59.94Hz 系 1/100s 固定、50Hz 系 1/60s 固定

Day/Night

IR カットフィルター切替仕様を下記モードから選択が可能です。

Color

常にカラー映像(IR カット有り)を出力します。

B/W

常にモノクロ映像(IR カット無し)を出力します。

Auto

昼間は高画質のカラー映像、夜間は高感度の白黒映像を自動的に切り替えます。

本モードを選択後、決定ボタンを押すと Switch Level(切り替え輝度レベル)が設定できます。

Switch Level 設定

切り替え輝度レベルを設定します。

Dark

切り替え輝度レベルは暗めです。

Mid

切り替え輝度レベルは Dark と Bright の中間です。

Bright

切り替え輝度レベルは明るめです。

Manual

切り替え輝度レベルをマニュアルで設定します。

Manual 設定

Switch Level を Manual にした時は次の設定が可能です

Color⇒B/W

昼から夜へ切り替わる明るさを設定します。

B/W⇒Color

夜から昼へ切り替わる明るさを設定します。

Average/Peak

測光データの平均値とピーク値を調整可能です。

Picture メニュー

Picture		
HDR	Off	
Auto Knee	Off	
Auto B.str	Off	
Black Level	0
Gamma	0.45	
Fog	Off	
DNR	High	
Detail	50
RETURN	EXIT	

HDR

HDR(低速シャッターと高速シャッターの二重露光により広い明るさの幅を表現する機能)の On/Off 設定が可能です。

On

HDR モード

On を選択すると下記項目の調整が可能になります。Off 時は表示されません。

※HDR モード時はイメージセンサのフレームレートが 1/2 になります。

• Shut Ratio

低速と高速のシャッター比率を調整できます。

• Mix Pos.

低速シャッター画像と高速シャッター画像の切り替えポイントを Auto / Low / High から選択ができます。

Auto

低速と高速の切り替えポイントを自動調整します。

Low

高速シャッター重視の切り替えポイントになります。

High

低速シャッター重視の切り替えポイントになります。

Off

通常モード

Auto Knee

暗部を圧縮して表示する機能の自動調整の設定が可能です。

On

二ーポイントを約 80IRE に下げ、明るさに応じ自動で二ースローブを調整します。

Off

二ーポイントが約 100IRE 固定になります。

Auto B str.

暗部を伸長して表示する機能の On/Off 設定が可能です。

On

Auto Black Stretch を ON にします。

Off

通常モード

Black Level

十字キーボタンにてカメラ映像の黒レベルを調整可能です。

Gamma

使用するディスプレイ(モニター)によって、カメラのガンマ特性を選択できます。

- 0.35~0.55(0.01step) / 1.0

Fog

被写体の輪郭や背景が霧・霞・煙のなかであっても、少しでも見えている状態であれば、それらにコントラストを与え補正し見えやすくします。赤外光透過フィルターとの組み合わせにより、より見えやすくすることも可能です。

Opt.DefogH

赤外光透過フィルターと電子式による Defog 機能、補正量は多めです。

Opt.DefogM

赤外光透過フィルターと電子式による Defog 機能、補正量は中位です。

Opt.DefogL

赤外光透過フィルターと電子式による Defog 機能、補正量は少なめです。

Opt.Defog

赤外光透過フィルターによる Defog 機能。

Off

通常モードです。

Low

電子式 Defog 機能、補正量は少なめです。

Mid

電子式 Defog 機能、補正量は中位です。

High

電子式 Defog 機能、補正量は多めです。

※赤外光透過フィルター使用時は画面がモノクロになります。

DNR

十字キーボタンでノイズリダクションの効果を選択します。

Off

ノイズリダクションは動作しません。

Low

ノイズリダクションは弱めに動作します。

High

ノイズリダクションは強く動作します

※ノイズリダクションの動作量はゲイン量に比例して動作します。

Gain が低い時はノイズリダクションの動作量は小さく、Gain が高い時はノイズリダクションの動作量は大きくなります。

※High を選択し Gain が高くなった時、3D ノイズリダクションの影響で残像が発生する場合があります。

Detail

十字キーボタンにてカメラ映像の輪郭を強調するレベルが調整可能です。

Color メニュー

Color	
White Bal.	Manual
Red Gain 50
Blue Gain 50
Chroma 50
Color Matrix	Setup
RETURN	EXIT

White Bal

十字キーボタンでホワイトバランスのモードが切りかえられます。

ATW1

ホワイトバランスを自動追尾調整します(色温度範囲:2500K~9000K)。

ATW2

ホワイトバランスを自動追尾調整します。ATW1 よりも広い範囲の色温度に対応しておりますが、ATW1 と比べた場合色ずれが起こる可能性があります。

AWC

ワンプッシュオートホワイトバランスです。

目標の無彩色(白、グレイ)の被写体を映して、十字キーボタンを押すことにより、ホワイトバランスを合わせます。

Manual

Red Gain と Blue Gain を調整して好みのホワイトバランスに合わせます。

Red Gain

White Bal: Manual 時に十字キーボタンで赤色を調整可能です。

Blue Gain

White Bal: Manual 時に十字キーボタンで青色を調整可能です。

Low Temp.

暖色系 3200K の光源に合わせたバランスです。

High Temp.

寒色系 5000K の光源に合わせたバランスです。

Chroma

十字キーボタンでカメラ映像のクロマレベルを調整可能です。

Color Matrix

6 軸 R、G、B、Ye、Cy、Mg の色相と彩度の調整が可能です。

各色選択後、十字キーボタンにて Hue(色相)と Saturation(彩度)の調整が可能です。

Lensメニュー

	Lens	
Zoom Speed	1
Zoom Move		
E-Zoom Mode	Max x4	
Focus Speed	1
Focus Move	N< >F	
AF Mode	Auto	
RETURN	EXIT	

Zoom Speed

ズームレンズの移動スピードを十字キーボタンで調整可能です。

Zoom Move

ズームレンズを十字キーボタンで調整します。

E-Zoom Mode

電子ズームを下記モードから設定可能です。

Off

光学ズーム(35倍)のみ

Max x4

光学ズームと電子ズーム(4倍)を合わせて、最大140倍までズーム可能です。

Max x10

光学ズームと電子ズーム(10倍)を合わせて、最大350倍までズーム可能です。

Focus Speed

フォーカスレンズの移動スピードを十字キーボタンで調整可能です。

Focus Move

フォーカスレンズを十字キーボタンで調整します。

AF Mode

オートフォーカスを下記モードから選択可能です。

Auto

通常のオートフォーカスが常に働いているモードです。

One Push AF

十字キーボタンを長押ししたときだけ、オートフォーカスが働きます。

Manual

十字キーボタンの左右移動でフォーカスレンズを手動で調整してピントを合わせます。

ご注意:

- 被写体の条件によっては、オートフォーカスでピントが合いにくい場合もありますので、その場合はManualにしてピント合わせしてください。
特に被写体が暗いシーン、ノイズが多くなるシーン、コントラストが低くなったシーン、レンズが汚れている場合などにオートフォーカスでピントが合わない可能性があります。
- AF Mode を Auto にした状態で長期間にわたって撮影される場合、レンズ制御モーターの寿命に影響しますので、AF Mode は One Push AF または Manual を推奨いたします。

Video Output メニュー

Video Output	
Video Format	1080p/59.94 ↵
HDMI Color	RGB(Limit) ↵
Flip/Mirror	Normal
Video Test	Camera
RETURN	EXIT

Video Format

HD 出力の信号フォーマットの設定が変更可能です。

設定を変更すると「エンター記号」が表示され、十字キーを押すと確認画面が表示されます。

OK を選ぶと、カメラは再起動してフォーマットが切り替わります。再起動中は映像は出力されません。

HDMI Color Space

HDMI 出力の色空間を選択ができます。

RGB(Limit) / RGB(Full) / YUV422 から選択できます。

設定を変更すると「エンター記号」が表示され、十字キーを押すと確認画面が表示されます。

OK を選ぶと、色空間設定が変更されます。

Flip / Mirror

映像反転の設定が出来ます。

Normal

通常モードです。

Flip

上下方向を反転します。

Mirror

左右方向を反転します。

Frip&Mirror

上下、左右両方を反転します。

Video Test

Camera

通常状態

Gray Scale

グレースケール信号

Color Bar

カラーバー信号

Cross Line

クロスライン信号

Device Setting(1/2)メニュー

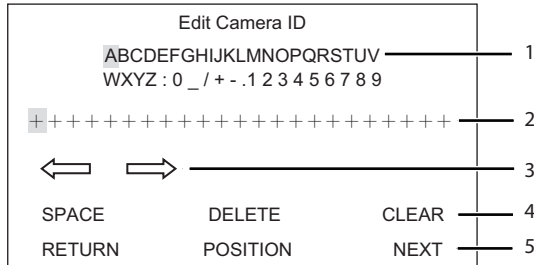
Dev. Setting (Page 1/2)		
Camera ID	On	↶
RS485 ID	1	
RS485 Baud.	9600	↷
Setting to Default		↷
RETURN	EXIT	NEXT

Camera ID

On にすることで、カメラ ID を表示します。

On にして十字キーボタンを押すと編集モードになり下の画面が立ち上がります。

十字キーボタンを押すとカーソル位置(点滅表示)に応じて以下の動作を行います。



1 カーソル位置で十字キーボタンを押すと、その文字が入力されます。

2 入力した文字を表示します。

3 入力する文字の位置を変更します。

4 空白を入力 / 一文字削除 / 全文字削除を行います。

5 表示位置を設定します。

ID 表示は 5 で POSITION を選択後、十字キーボタンを押すとディスプレイ(モニター)に表示され、十字キーボタンの上下左右で位置の移動が出来ます。

RS-485 ID

RS-485 経由で制御する時のカメラ番号を設定します。

RS-485 Baud.

制御機器(PC 等)からカメラの制御を RS-485 経由で行う時の、ボーレートを設定します。

9600bps / 19200bps / 38400bps から選択出来ます。

設定を変更すると「エンター記号」が表示され、十字キーを押すと確認画面が表示されます。

OK を選ぶと、カメラは再起動してボーレートが切り替わります。再起動中は映像は出力されません。

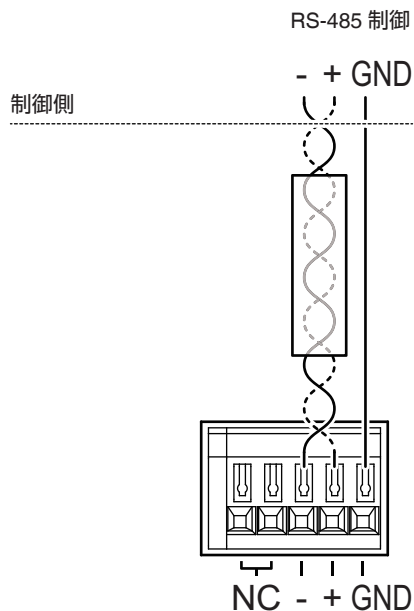
Setting to Default

映像出力、通信系以外の設定値を工場出荷時に戻します。
以下の設定値は戻りません。

- ビデオ出力モード
- HDMI Color Space
- Camera ID
- RS-485 ID
- RS-485 Baud.

RS-485 接続方法

RS-485 制御を行う時は、下図のように接続してください。



SSZ-9700 のリアパネルの端子台

Device Setting(2/2)メニュー

Dev. Setting (Page 2/2)		
Privacy Mask	On	↵
MenuDispTime	60 Sec	
Message Disp	Off	
RETURN	EXIT	NEXT

Privacy Mask

プライバシーマスクを 8 ヶ所まで設定することが出来ます。

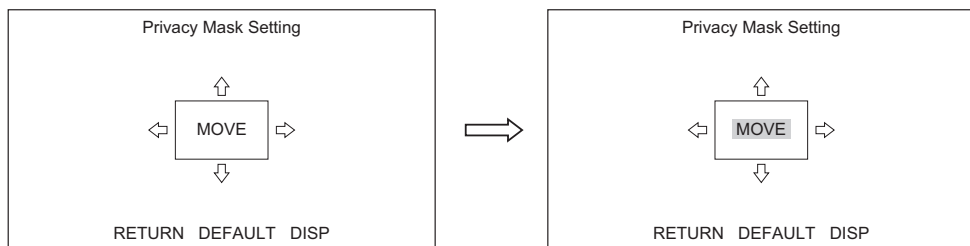
Privacy Mask を選択すると、プライバシーマスク表示画面に切り替わります。

Privacy Mask		
Mask1	On	↵
Mask2	Off	
Mask3	Off	
Mask4	Off	
Mask5	Off	
Mask6	Off	
Mask7	Off	
Mask8	Off	
Paint	Gray	
RETURN	EXIT	

Mask1～8 は個々に On/Off の設定ができます。

マスクの色は、Gray / White / Black より選択出来ます。

Mask を選び On にして十字キーボタンを押すと位置とサイズの設定画面になります。



変更したい所にカーソルを移動し、十字キーボタンを押すとカーソル表示が点滅から太字(黒塗り)の点滅になり、上図の場合は **MOVE**:位置を十字キーボタンで動かす事が出来ます。

また矢印⇨:サイズを十字キーボタンで変更することが出来ます。

変更したい所を変えるには、十字キーボタンボタンを押すと、カーソル表示が太字(黒塗り)の点滅から普通の点滅に戻りますので、十字キーボタンで移動させます。

Menu Display Time

OSD メニューの表示時間を設定できます。

- 10 秒 / 60 秒 / 常時表示

Message Disp

画面上に下記メッセージを表示するか非表示にするかを選択します。

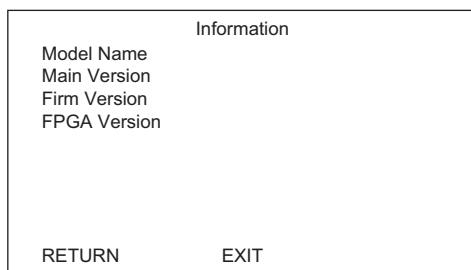
On

Zoom、Focus、One-Push AF のステータス表示する。

Off

ステータスメッセージを表示しません。

Information:Version



Model Name、Serial No などの情報

Model Name

製品型名

Main Version

Main プログラムバージョン

Firm Version

Firm プログラムバージョン

FPGA Version

FPGA プログラムバージョン

メニュー設定の制限

一部設定においては他の項目の設定不可(項目が非表示になる)などの制限がかかる項目があります。項目が表示されない場合はこちらをご確認ください。

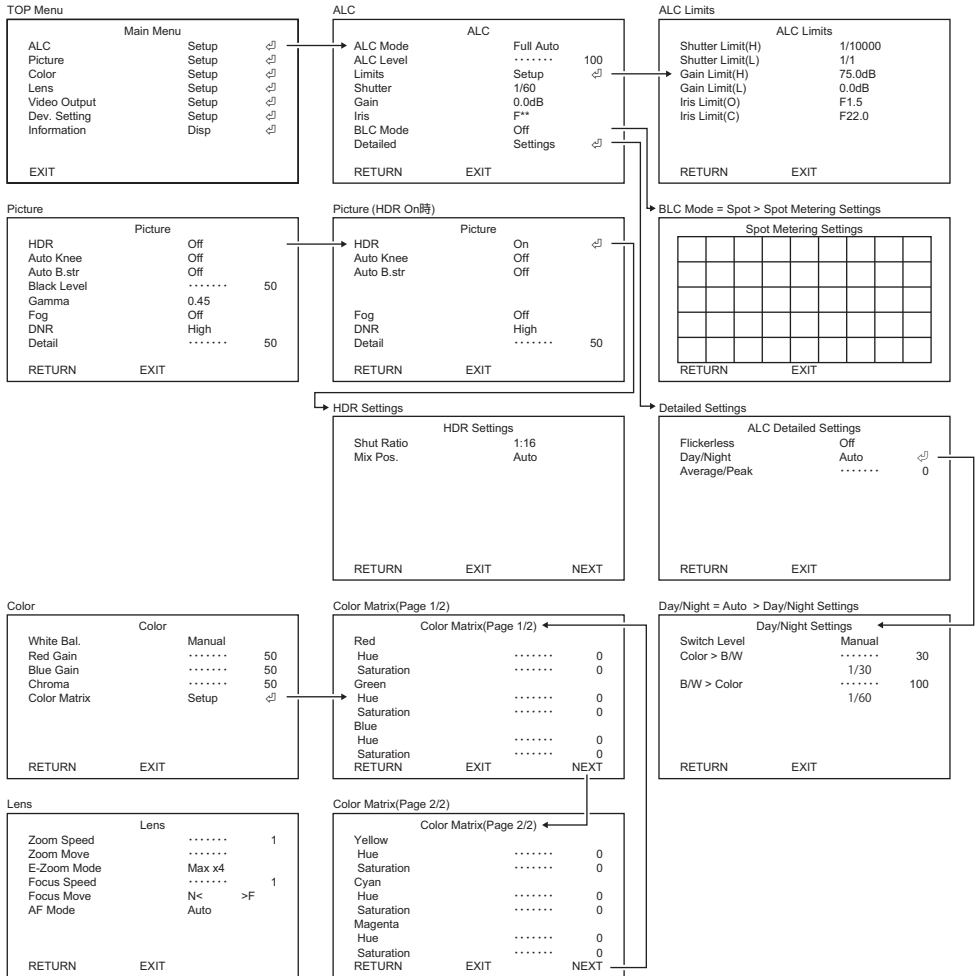
○:設定可能、×:設定不可(項目非表示)、※:排他関係(項目は表示されるが、同時に使用できず、設定値が切り替わる)

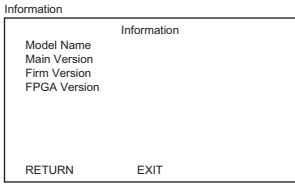
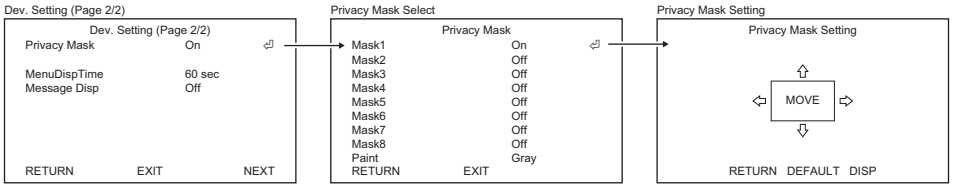
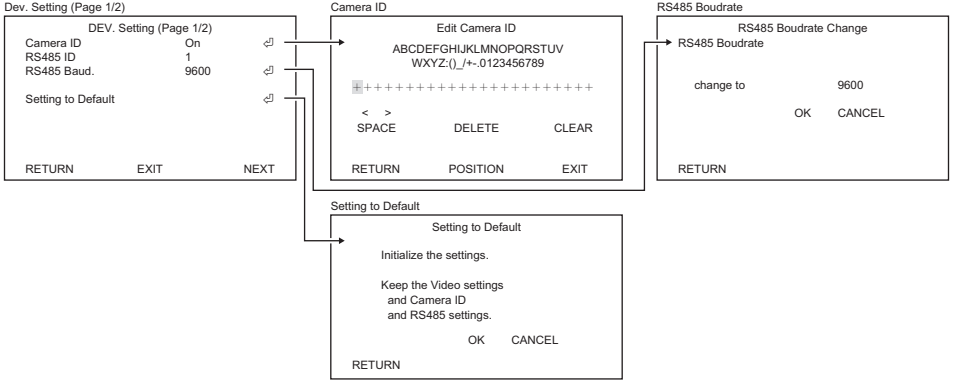
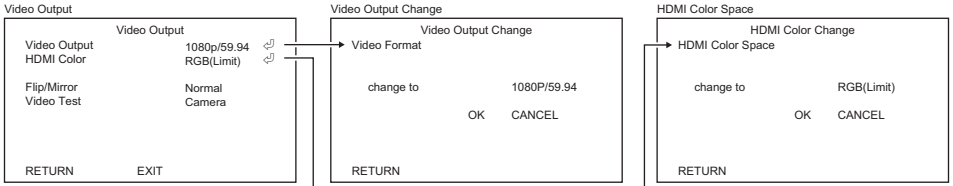
設定条件			HDR=On	Auto Knee=On	Auto B.str=On	Fog=Low,Mid,High Opt.DefogL,M,H	
メニュー	項目	設定値など					
Picture	HDR		-	○	○	○(※HDR 優先。 HDR=On 時、 Fog の設定が切り替わる)	
	Auto Knee		○	-	○	※(Off に切り替わる)	
	Auto B.str		○	○	-	※(Off に切り替わる)	
	Black Level		×	○	×	○	
	Gamma		×	×	×	×	
	Fog	Off		○	○	○	-
		Opt.Defog		○	○	○	-
Low,Mid,High			×	※(Off に切り替わる)	※(Off に切り替わる)	-	
	Opt.DefogL,M,H		×	※(Opt.Defog に切り替わる)	※(Opt.Defog に切り替わる)	-	

設定条件			HDR=On
メニュー	項目	設定値など	
ALC	ALC Mode		○
	ALC Limits	Shutter Limit	×
		他	○
	Shutter		1/30~1/4000(59.94Hz 系) 1/25~1/4000(50Hz 系)
	BLC Mode		×
Detailed	Flickerless		×

設定条件			ALC Mode=Gain Prio. Gain = 0.0~5.7dB
メニュー	項目	設定値など	
ALC	ALC Limits	Shutter Limit (L)	1/60~1/4000(59.94Hz 系) 1/50~1/4000(50Hz 系)

メニュー構成





仕様

レンズ部

ズーム比	35倍(電子ズーム On 時:最大 350倍)
焦点距離	6.5mm ~ 230mm
画角(HxV)[16:9]	Wide:60.4° x 35.9° Tele:2.0° x 1.2°
絞り範囲	F1.5 ~ F22
光学フィルター	IRカットフィルター/ダミーフィルター/Defog フィルター
ズーム/フォーカス/絞り制御	ステッピングモーター
フォーカス範囲	5m~∞
フォーカスシステム	Auto Focus、One Push Auto Focus、Manual

カメラ部

映像素子	単板 CMOS/ RGB ベイヤー配列	
総画素数	2016(H)×1128(V) 約 227 万画素	
有効画素数	1936(H)×1096(V) 約 212 万画素	
画素サイズ	4.1μm(H)×4.1μm(V)	
光学サイズ	1/1.8 型	
センサーフレームレート	59.94fps/50fps(HDR モード時は 1/2)	
走査方式	プログレッシブ	
最低被写体照度	0.004lx(F1.5 1/30s、50IRE、+78dB)	
水平解像度	900TV 本以上	
SN 比	50dB 以上(γ=1、輪郭補正 OFF、DNR OFF)	
画質調整	露光モード	Full Auto / Shut. Prio. / Gain Prio. / Iris Prio. / Manual
	Gain	Manual:0dB~78dB(0.3dB step)
	電子シャッター	1/1, 1/2, 1/4, 1/8, 1/15, 1/30, 1/60, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 秒[59.94Hz 系] 1/1, 1/2, 1/3, 1/6, 1/12, 1/25, 1/50, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 秒[50Hz 系]
	Iris	F1.5~F22
	ALC 調整	Level 調整/ Limits 調整
	逆光補正	On / Off/ Spot
	ガンマ補正	0.35~0.55(0.01step) / 1.0
	DNR	Off / Low / High

画質調整	ホワイトバランス	ATW1 / ATW2 / AWC / Manual / Low Temp. / Hi Temp.
	HDR MODE	Off / HDR / Auto Knee / Auto Black Stretch
	霧除去	光学 Defog / 電子 Defog (各 3 段階)
	Color Matrix	R/G/B/Ye/Cy/Mg 6 軸調整
	その他	Detail / Chroma / Black Level
電子ズーム	1~10 倍 (光学ズーム連動、Off / Max x4 / Max x10)	
映像反転	左右反転/上下反転/上下左右反転	
プライバシーマスク	8 マスク Gray/White/Black	
テストパターン	カラーバー、グレイスケール、クロスライン内蔵	
操作	OSD 表示による	

インターフェース部

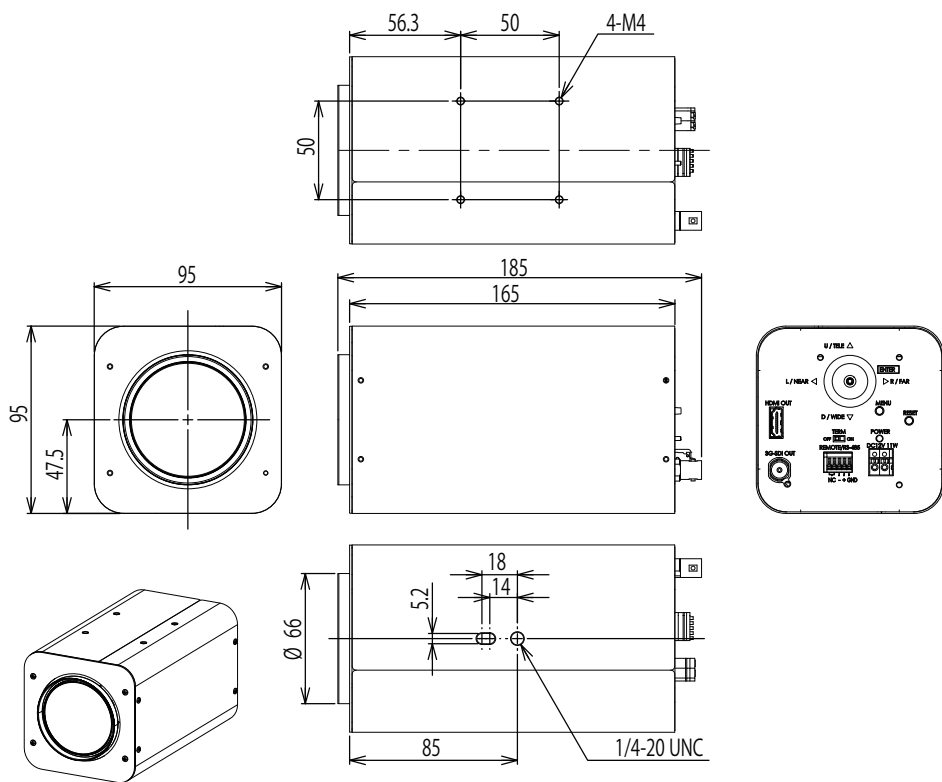
映像出力端子	3G-SDI (BNC)×1 HDMI (Type A)×1	
シリアルポート	RS-485 (Carina オリジナルコマンド)	
ビデオ出力	3G-SDI、HDMI	1080p/59.94 (LEVEL A)、1080i/59.94、 1080p/29.97、1080p/50.00 (LEVEL A)、 1080i/50.00、1080p/25.00

一般

電源	DC12V ±10% (リップル 50mVp-p 以下)
消費電力	11W
使用温度/湿度範囲	-10~50°C / 10~90%
保存温度/湿度範囲	-10~60°C / 10~90%
寸法	95.0 (W)×95.0 (H)×165.0 (D)mm 突起部を除く
質量	1.5kg

- 予告なく仕様または外装の一部を変更することがあります。

外觀寸法圖



修理・廃棄処分に関する内容について

修理の際の注意事項

1. 修理期間中に製品を使用できなかったことによる不便さ、営業損失などは、無償修理、有償修理に関わらず補償いたしませんので、ご了承ください。
2. 修理対応となった場合、修理期間中の代替品、システムの貸与はおこないません。レンタルなどの費用負担もいたしません。
3. 修理期間は、受付後、随時変動するため、予定納期が変更になる場合がございます。
4. 日本国外への発送、連絡はおこなっていません。
5. 着払いでのチャーター便など、特別便でお送りいただいた場合の受領はできません。
6. 直接のお持ち込みは受け付けません。

保証期間内の修理について

保証期間内に発生した故障は、保証書の規定に基づき無償修理させていただきます。「修理のお申し込み方法」をお読みの上、製品の修理をご依頼ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後に故障が発生した場合は、有償修理契約規定にご同意のうえ、有償修理をさせていただきます。別途、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

修理のお申し込み方法

1. 本マニュアルをお読みいただき、使用方法に間違いがないかを、お確かめください。
2. 製品名とシリアルナンバーなどの必要事項をご確認ください。
3. 製品本体、保証期間内の場合は製品保証書（ご購入日と販売店印が記載されていること、もしくは納品書に購入日が確認できる書類のコピーが必要）、および製品の不具合内容、ご連絡先をご用意ください。
4. 確認の上で、ご不明な点は、お買い上げの販売店までご相談ください。
5. 無償修理期間でも、訪問修理をご希望された場合は、訪問料のみ有料となります。有償修理の場合は、修理費用のご連絡時に納期について、お知らせいたします。

製品の廃棄処分について

本製品は、業務用途を意図した製品ですので、産業廃棄物として処理してください。

Memo

Memo

Memo

保証規定

- 保証の対象は当社が製造販売しているハードウェア製品とさせていただきます。
本製品が正常な使用方法で保証期間中に故障した際には、無償で修理をおこないます。
- 以下の場合は、保証期間内でも、有償修理となります。
 - ① 本保証書のご提示がない場合、また本保証書の必要事項に記入漏れ・修正・無効な記述がある場合。
 - ② 本保証書にお買い上げ販売店名・期日が確認できない場合（販売店名の記名、押捺のある本保証書、または本保証書と共に、販売店名と購入日が確認できる領収書などのご添付）。
 - ③ お客様による輸送移動中の落下・輸送中の事故などによる場合。
 - ④ 当社及び当社が業務認定した以外の者が、修理・改造された場合。
 - ⑤ 訪問修理をご希望された場合（訪問料のみ有料となります）。
 - ⑥ 本製品のソフトウェア部分に起因する場合やウィルス感染による不具合、お客様が設定されたパスワードの忘却等。
 - ⑦ 火災、風水害、地震、落雷その他天災事変、公害、煙害、ガス害、異常電圧等の不可抗力事由による場合。
 - ⑧ 接続している他の機器に起因する場合。
 - ⑨ 消耗品、寿命品の交換。
 - ⑩ 使用上の誤り、取扱説明書に記載された安全上のご注意、お願い事項を守られない場合の故障や損傷。
 - ⑪ 取扱説明書に記載された動作条件の範囲外での使用による故障や損傷。
- 修理の為に本製品から取り外した故障部品につきましては、再生、再利用につとめており製造メーカーへ返却しますので、お客様には返却いたしません。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。
- 本保証書は日本国内のみで有効です。
- 本保証書は再発行いたしません。
- この保証は、最初の購入にのみ適用され、以降の転売、譲渡には適用されません。

免責事項

- 火災、風水害、地震、落雷その他天災事変、第三者による行為、その他の事故、お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、当社では一切責任を負いません。
- 本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置または保存媒体に記憶された内容の損失、損害など）につきましては、当社では一切責任を負いません。
- 本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、当社では本製品以外についての修理費用などは一切保証いたしません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないために生じた損害につきましては、当社では一切責任を負いません。

その他

- この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

個人情報の扱いについて

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、サービス活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法、及び当社と同等の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

保証書

製品名	35x ZOOM FULL HD CAMERA
型番	SSZ-9700
製造番号	
保証期間	ご購入日 年 月 日 から2年間

本保証書は、保証規定に従って、保証期間中に発生した製品の故障について無償修理をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、当社、又はお買い上げ販売店に保証書を添えて、お申し付けください。

お客様	御社名	TEL
	ご担当者	() -
	ご住所 〒 -	

販売店	住所・店名・TEL	印
-----	-----------	---



www.carinasystem.co.jp

カリーナシステム株式会社

〒650-0034 神戸市中央区京町69 三宮第一生命ビルディング7F

TEL : 078-335-7601

©2021 Carina System Co., Ltd.

Doc# MCM1041502-02